

令和4年度 愛媛県立野村高等学校 第74回卒業式式辞

長かった冬も終わりに近づき、彩雲の高照る丘を吹く風にも、そこはかたなく春の気配を感じる今日の佳き日に、御来賓の方々、保護者の皆様をお迎えして、愛媛県立野村高等学校、第七十四回卒業証書授与式を挙げていただけますことは、卒業生はもとより在校生、教職員にとりましても、大きな喜びでございます。本日御臨席を賜りました皆様方には、巢立ちゆく卒業生の門出に花を添えていただき、誠にありがとうございます。心よりお礼を申し上げます。

ただ今、卒業証書を授与しました普通科37名、農業科16名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。この日を迎えられるのは、皆さん一人一人が、三年間たゆまぬ努力を続けてきた結果です。その努力に対し、心から拍手を送りたいと思います。しかし一方で、私が一年を通して言い続けてきたように、共に学び合い、支え合い、高め合ってきた友だち、そして皆さんのことを見守り育ててくださった家族、地域の方々、先生方がいたことも忘れないでほしいと思っています。

皆さんは、これから進学、就職とその道はさまざまですが、恐らく皆さんの心の中は、未知の世界に対する不安と緊張感、或いはワクワク感でいっぱいだと思います。そんな皆さんに、校長の私からひとつだけ、伝えたい言葉があります。それは、「どうせやるならいやいやではなく、一生懸命にやれ。そして、何でもいいから『いきがい』を見つけてほしい。」ということです。

私は、高校の教員として初めて赴任した学校で、A君という生徒と出会いました。A君は、バスケットボール部に所属し、同時に勉強も頑張っている努力家でした。ところが、そんなA君が高校2年の1学期の中間考査で赤点を取ってしまったのです。赤点を取った科目は、物理でした。私の専門科目は物理なのですが、彼のクラスは担当しておらず、掃除の時に話をするくらいでした。その彼が中間考査後に私のところにやってきて、こう言ったのです。

「僕は高校を卒業したら、東京大学に進学して、バスケットボールをやりながら、宇宙工学を勉強したいのです。でも、物理がとても苦手です。先生お願いがあります。部活動が終わってから、毎日30分だけでいいので、物理を教えてくださいませんか。」

「東京大学」というそれまで自分が進路先として考えたこともないような大学に進みたいという彼の話に、私は正直驚きましたが、少しでもA君の力になりたいと引き受けました。何しろ、新米の教員です。今思ったら、教え方はお世辞にも上手とは言えなかったと思います。でも、毎日毎日教えることで、私の指導力が高まったのか、暗かったA君の顔がどんどん明るくなって笑顔が増えていき、自信を持って受け答えができるようになっていきました。そして、A君は、1学期期末考査の物理で、なんと98点を取ることができたのです。その98点の答案用紙を持って、私のところに報告に来てくれた彼の顔が今でも忘れられません。本当に、自分のことのようにうれしかった体験でした。

ところが、信じられないことにその2週間後に、A君は不慮の事故で亡くなってしまったのです。私はそのショックから立ち直るのにかなり時間がかかりました。しかし、やっと立ち直ってからは、「A君のように、生徒一人一人が目を輝かせて笑顔になれるように、本人が気付いていない未知の力を引き出してあげたい。そして、生徒たちが、私自身は歩めなかったようなすばらしい人生を歩み、私自身は到底掴めなかったような何かを手にしてほしい。私は、そのために私の力を全て捧げたい。」と思うようになったのです。自分が教えた生徒たちが、こうした人生を歩んでいくことを思うと、私の心は弾み、生気がみなぎります。

つまり、生徒たちに私自身には見られなかった景色を見せてあげることが、教員としての私の使命であり、私の「いきがい」だったといえるでしょう。

私たちにとって一番大切なことは「こんな人生を歩みたい」「将来こんな人間になりたい」というふうに、自分の可能性をひたすら信じることなのではないでしょうか。人間が持つ強い思いというものは、私たちの想像を超えたすさまじいパワーを生み出すと私は信じています。だからこそ、何度つまずいても、何度転んでも、どんな壁にぶつかっても、この経験が自分を強くしてくれるのだと信じて、前へ前へと進んでください。自分が諦めない限り、限界はないのです。

終わりにになりましたが、保護者の皆様、本日はお子様の御卒業、誠におめでとうございます。今日の佳き日を迎えられ、立派に成長されたお子様のお姿に感慨もひとしおのことと存じます。また、今日まで本校にお寄せいただいた御支援、御協力に深く感謝申し上げます。

本当に、最後となりました。卒業生の皆さん、野村高校に入学してくれてありがとうございます。そして、新米校長の私に、たくさんの勇気と元気を与えてくれてありがとうございます。皆さんが、新しい世界で笑顔で楽しく御活躍されることをお祈りして、式辞と致します。

令和5年3月1日

愛媛県立野村高等学校長 山下 和宏